

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

令和7年 4月 28日

知事 様

病院名 独立行政法人国立病院機構 京都医療センター
開設者 院長 川端 浩

医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令（平成14年厚生労働省令第158号）第12条に基づき、年次報告書を提出いたします。

また、併せて、同省令第9条に基づき、**1.** 研修プログラムの変更、 2. 研修プログラムの新設を届け出ます。

（研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけてください。）

1. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院 （報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に○をつけてください。）

・項目番号1から27までについては、年次報告において記入してください。

・研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号28から38までについても記入してください。

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－１－

病院施設番号：

030474

臨床研修病院の名称： 独立行政法人国立病院機構 京都医療センター

記入日：西暦 2025年4月28日

病院施設番号 (基幹型、協力型記入) 既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。	030474		臨床研修病院群の名称 (基幹型、協力型記入) 既に臨床研修病院群番号を有している臨床研修病院群については、番号も記入してください。	名称 番号
作成責任者の氏名及び連絡先 (基幹型、協力型記入) 本報告書の問合せに対して回答できる作成責任者について記入してください。	フリガナ ナカノ ヨシキ 氏名 (姓) (名) 中野 芳紀		役職 管理課庶務班長 (内線：) (直通電話：) e-mail: <u>04-kensyu-jimu@mail.hosp.go.jp</u>	
	1. 病院の名称 (基幹型、協力型記入) フリガナ ト・クリツキ・ヨウセイホリゾンコリツビ・ヨウインキョウ キョウトイリョウセンター 独立行政法人国立病院機構 京都医療センター			
	2. 病院の所在地及び二次医療圏の名称 (基幹型、協力型記入) 〒 612-8555 京都市伏見区深草向畑町1-1 電話： 075-641-9161 FAX： 075-643-4325 二次医療圏の名称： 京都・乙訓			
3. 病院の開設者の氏名 (法人の名称) (基幹型、協力型記入)	フリガナ 75キ カズヒロ 新木 一弘			
4. 病院の開設者の住所 (法人の主たる事務所の所在地) (基幹型、協力型記入)	〒 152-0021 東京都目黒区東が丘2丁目5番地21号 電話： 03-5712-5050 FAX： 03-5712-5081			
5. 病院の管理者の氏名 (基幹型、協力型記入)	フリガナ カワバタ ヒロシ 姓 川端 名 浩			
6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数 (基幹型記入)	* 別紙1に記入 研修管理委員会の全ての構成員(協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設に所属する者を含む。)について記入してください。			
7. 病院群の構成等 (基幹型記入)	* 別表に記入 病院群を構成する全ての臨床研修病院、臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してください。			
8. 病院のホームページアドレス (基幹型、協力型記入)	https://kyoto.hosp.go.jp/			

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書ー2ー

病院施設番号：

030474

臨床研修病院の名称： 独立行政法人国立病院機構 京都医療センター

		※	
9. 医師（研修医を含む。）の員数 (基幹型・協力型記入)			常勤： 161 名、非常勤（常勤換算）： 57.27 名 計（常勤換算）： 218.27 名、医療法による医師の標準員数： 44.91 名 * 基幹型臨床研修病院は、当該病院が管理している研修医の氏名等について様式A-3に記入
10. 救急医療の提供の実績 (基幹型・協力型記入)	救急病院認定の告示		告示年月日： 2019年3月31日 、告示番号：第 204 号
	医療計画上の位置付け		1. 初期救急医療機関 2. 第二次救急医療機関 3. 第三次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無		1. 有 (155) m ² 0. 無
	救急医療の実績		前年度の件数： 9,718 件（うち診療時間外： 5,067 件） 1日平均件数： 27 件（うち診療時間外： 14 件） 救急車取扱件数： 5,345 件（うち診療時間外： 2,701 件）
	診療時間外の勤務体制		医師： 4 名、看護師及び准看護師： 8 名
	指導を行う者の氏名等		* 別紙4に記入
	救急医療を提供している診療科		内科系 (1. 有 0. 無) 外科系 (1. 有 0. 無) 小児科 (1. 有 0. 無) その他 ()
11. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） (基幹型・協力型記入)			1. 一般： 600 床、2. 精神： 床、3. 感染症： 床 4. 結核： 床、5. 療養： 床
12. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数 (基幹型・協力型記入)			* 別紙2に記入 年次報告の場合には、患者数は報告年度の前年度分、研修医の数は報告年度の前年度分の実績と当年度分の予定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合には、患者数は届出年度の前年度分、研修医の数は届出年度の次年度分及び次々年度分の予定を記入。
13. 病床の種別ごとの平均在院日数（小数第二位四捨五入） (基幹型・協力型記入)			1. 一般： 11.0 日、2. 精神： 日、3. 感染症： 日 4. 結核： 日、5. 療養： 日
14. 前年度の分娩件数 (基幹型・協力型記入)			正常分娩件数： 127 件、異常分娩件数： 91 件
15. 臨床病理検討会（CPC）の実施状況 (基幹型・協力型記入)	開催回数		前年度実績： 2 回、今年度見込： 2 回 ※報告・届出病院の主催の下に開催した回数を記入
	指導を行う病理医の氏名等		* 別紙4に記入
	剖検数		前年度実績： 5 件、今年度見込： 5 件
	剖検を行う場所		当該医療機関の剖検室 1. 有 0. 無 () 無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。
16. 研修医のための宿舎及び研修医室の有無 (基幹型・協力型記入)	研修医の宿舎		1. 有（単身用： 20 戸、世帯用： 戸） 0. 無（住宅手当： 円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。
	研修医室		1. 有 (1 室) 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
17. 図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況 (基幹型・協力型記入)	図書室の広さ		(177) m ²
	医学図書数		国内図書： 2,000 冊、国外図書： 1,000 冊
	医学雑誌数		国内雑誌： 40 種類、国外雑誌： 74 種類
	図書室の利用可能時間		0:00 ~ 0:00 24時間表記
	文献データベース等の利用環境		Medline等の文献データベース (1. 有 0. 無)、教育用コンテンツ (1. 有 0. 無)、 その他 () 利用可能時間 (0:00 ~ 0:00) 24時間表記
	医学教育用機材の整備状況		医学教育用シミュレーター (1. 有 0. 無)、 その他 ()

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書ー 3 ー

病院施設番号：

003047

臨床研修病院の名称： 独立行政法人国立病院機構 京都医療センター

18. 病歴管理体制 (基幹型・協力型記入)	病歴管理の責任者の氏名及び役職	フガナ 功ハナ 氏名(姓) 中原 (名) 役職 医療情報部長														
	診療に関する諸記録の管理方法	1. 中央管理 2. 各科管理 その他(具体的に：)														
	診療録の保存期間	(25)年間保存														
	診療録の保存方法	1. 文書 2. 電子媒体 その他(具体的に：)														
19. 医療安全管理体制 (基幹型・協力型記入)	安全管理者の配置状況	1. 有 (1 名) 0. 無 有を選択した場合には、安全管理者の人数を記入してください。														
	安全管理部門の設置状況	職員：専任 (2)名、兼任 (62 名) 主な活動内容： 例)「院内において発生した医療事故又は発生する危険があった医療事故についての情報の収集」「医療事故の防止のための研修及び教育」等 医療安全に関する現場の情報収集および実態調査など														
	患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況	患者相談窓口の責任者の氏名等： フガナ シラガ 氏名(姓) 白神 (名) 幸太郎 役職 医療安全管理部長 対応時間 (8:30 ~ 17:15) 24時間表記 患者相談窓口に係る規約の有無： 1. 有 0. 無														
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	1. 有 0. 無 指針の主な内容： 医療安全管理規定、医療安全管理マニュアル														
	医療に係る安全管理委員会の開催状況	年 (24)回 活動の主な内容： 医療安全委員会、医療安全推進部会、リスクマネージャー会議														
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 (7)回 研修の主な内容： 医療安全管理研修会、医療ガス研修会、新採用者研修														
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策	医療機関内における事故報告等の整備： 1. 有 0. 無 その他の改善のための方策の主な内容： ハイリスク診療検討会、オカレンス事例検討会														
	20. 前年度に臨床研修を修了又は中断した研修医の数 (基幹型・協力型記入)	修了： 10 名 中断： 名														
	21. 現に受け入れている研修医の数 (基幹型・協力型記入)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>前々年度</th> <th>前年度</th> <th>当該年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 年</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>2 年</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>				前々年度	前年度	当該年度	1 年	10	10	10	2 年	10	10	10
		前々年度	前年度	当該年度												
1 年	10	10	10													
2 年	10	10	10													
22. 受入可能定員 (基幹型・協力型記入)	許可病床数(産科の病床数を除く。)から算出 患者数から算出	許可病床数 (600)床 ÷ 10 = (60)名 年間入院患者数 (14,566)人 ÷ 100 = (146)名														
23. 精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況 (基幹型・協力型記入) 精神科の研修を行う臨床研修病院については記入してください。	1. 精神保健福祉士： 名 (常勤： 名、非常勤： 名) 2. 作業療法士： 12 名 (常勤： 12 名、非常勤： 名) 3. 臨床心理技術者： 6 名 (常勤： 名、非常勤： 6 名) 9. その他の精神科技術職員： 名 (常勤： 名、非常勤： 名)															
24. 臨床研修に関する第三者評価の受審状況 (基幹型記入) JCEPによる評価受審の有無を記載してください。	1. 有 () 0. 無 有を選択した場合には、直近の受審日を記入してください。 受審状況有りの場合、結果の公表 1. 有 0. 無															

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－４－

病院施設番号：

030474

臨床研修病院の名称： 独立行政法人国立病院機構 京都医療センター

項目27までについては、報告時に必ず記入してください。		※
25. 時間外・休日労働の実績及び最大想定時間数 (基幹型記入)		* 別紙5に記入 年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合は、届出年度の前年度の実績及び次年度の想定を記入。
26. 前年度に育児休業を取得した研修医の数 (基幹型・協力型記入)		女性 1年次研修医 (0) 名 2年次研修医 (1) 名 男性 1年次研修医 (0) 名 2年次研修医 (0) 名
27. 研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項 (基幹型・協力型記入)	院内保育所	院内保育所の有無 (1. 有 0. 無) 有を選択した場合、開所時間を記入してください (7:00 ~ 21:00) 病児保育 (1. 有 0. 無) 夜間保育 (1. 有 0. 無) 上記保育所は研修医の子どもに使用可能か (1. 可 0. 不可)
	保育補助	ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 (1. 有 0. 無) その他の補助 (具体的に)
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所	休憩場所 (1. 有 0. 無) 授乳スペース (1. 有 0. 無)
	その他育児関連施設・取組があれば記入(院外との連携した取組もあれば記入)	()
	研修医のライフイベントの相談窓口	1. 有 0. 無 窓口の名称がある場合記入 (教育研修部) 窓口の専任担当 1. 有 () 名 0. 無
	各種ハラスメントの相談窓口	窓口の名称を記入 (管理課) 窓口の専任担当 1. 有 () 名 0. 無
※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。		
28. 研修プログラムの名称 (基幹型・協力型記入) プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。		研修プログラムの名称： 京都医療センター卒後研修プログラム プログラム番号： 0030474103
29. 研修医の募集定員 (基幹型記入)		1年次： 9 名 2年次： 9 名
30. 研修医の募集及び採用の方法 (基幹型記入)	研修プログラムに関する問い合わせ先	フガナ 芳紀 氏名(姓) 中野 (名) 所属 管理課 役職 庶務班長 電話： 075-641-9161 FAX： 075-643-4325 e-mail： 404-kensyu-jimu@mail.hosp.go.jp URL： https://kyoto.hosp.go.jp/
	資料請求先	住所 〒 612-8555 京都府伏見区深草向畑町1-1 担当部門 担当者氏名 フガナ 芳紀 姓 中野 名 電話： 075-641-9161 FAX： 075-643-4325 e-mail： 404-kensyu-jimu@mail.hosp.go.jp URL： https://kyoto.hosp.go.jp/

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書ー5ー

病院施設番号：

030474

臨床研修病院の名称： 独立行政法人国立病院機構 京都医療センター

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

30. 研修医の募集及び採用の方法（続き） （基幹型記入）	募集方法	☒ 公募 2. その他（具体的に： ）													
	応募必要書類 （複数選択可）	☒ 履歴書、 ☒ 卒業（見込み）証明書、 3. 成績証明書、 4. 健康診断書、 5. その他（具体的に： ）													
	選考方法 （複数選択可）	☒ 面接 ☒ 筆記試験 その他（具体的に： ）													
	募集及び選考の時期	募集時期： 6月下旬 頃から 選考時期： 8月中旬 頃から													
	マッチング利用の有無	☒ 有 0. 無													
31. 研修プログラムの名称及び概要 （基幹型記入）		概要：＊ 別紙3に記入 （作成年月日： 2025年4月1日 ）													
32. プログラム責任者の氏名等（副プログラム責任者が配置されている場合には、その氏名等） （基幹型記入） ＊ プログラム責任者の履歴を様式A-2に記入 ＊ 副プログラム責任者が配置されている場合には、副プログラム責任者の履歴を様式A-2に記入		<table border="1"> <tr> <td colspan="2">（プログラム責任者）</td> </tr> <tr> <td>氏名（姓）</td> <td>コヤマヒロ</td> </tr> <tr> <td>氏名（姓）</td> <td>小山 弘</td> </tr> <tr> <td>所属</td> <td>京都医療センター 役職 副院長・教育研修部長</td> </tr> <tr> <td colspan="2">（副プログラム責任者）</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> ☒ 有 （ 1 名 ） 0. 無 </td> </tr> </table>		（プログラム責任者）		氏名（姓）	コヤマヒロ	氏名（姓）	小山 弘	所属	京都医療センター 役職 副院長・教育研修部長	（副プログラム責任者）		☒ 有 （ 1 名 ） 0. 無	
（プログラム責任者）															
氏名（姓）	コヤマヒロ														
氏名（姓）	小山 弘														
所属	京都医療センター 役職 副院長・教育研修部長														
（副プログラム責任者）															
☒ 有 （ 1 名 ） 0. 無															
33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 （基幹型記入） 全ての臨床研修指導医等（協力型臨床研修病院に所属する臨床研修指導医及び臨床研修協力施設に所属する臨床研修の指導を行う者を含む。）について氏名等を記入してください。		＊ 別紙4に記入													
34. インターネットを用いた評価システム		☒ 有 （ ・ ☒ EPOC ・ その他（ ） ） 0. 無													
35. 研修開始時期 （基幹型、地域密着型記入）		2026年4月1日													
36. 研修医の処遇 （基幹型・協力型記入）	処遇の適用 （基幹型臨床研修病院は、2に○をつけて、以下の各項目について記入してください。）	1. 基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする。 1を選択した場合には、以下の研修医の処遇の項目については、記入不要です。 ☒ 2. 病院独自の処遇とする。													
	常勤・非常勤の別	1. 常勤 ☒ 2. 非常勤													
	研修手当	一年次の支給額（税込み） 基本手当／月 （ 420,000 円 ） 賞与／年 （ 円 ）	二年次の支給額（税込み） 基本手当／月 （ 420,000 円 ） 賞与／年 （ 円 ）												
	勤務時間	基本的な勤務時間 （ 9:00 ～ 15:30 ） 24時間表記 休憩時間 （ 30分 ） 時間外勤務の有無： ☒ 有 0. 無													
	休暇	有給休暇 （ 1年次： 10 日、 2年次： 10 日 ） 夏季休暇 （ ☒ 有 ☒ 無 ） 年末年始 （ ☒ 有 0. 無 ） その他休暇 （具体的に： 年2日間のリフレッシュ休暇 ）													
	当直	回数 （ 約 5 回／月 ）													
	研修医の宿舎（再掲）	☒ 有 （単身用： 20 戸、世帯用： 戸 ） 0. 無 （住宅手当： 円 ） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。													
	研修医室（再掲）	☒ 有 （ 1 室 ） 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。													
	社会保険・労働保険	公的医療保険 （ 健康保険 ）													
		公的年金保険 （ 厚生年金 ）													
労働者災害補償保険法の適用 （ ☒ 有 0. 無 ）															
国家・地方公務員災害補償法の適用 （ ☒ 有 ☒ 無 ）															
		雇用保険 （ ☒ 有 0. 無 ）													

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書ー6ー

病院施設番号：

030474

臨床研修病院の名称： 独立行政法人国立病院機構 京都医療センター

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

36. 研修医の処遇(続き) (基幹型・協働型記入)	健康管理	健康診断 (年 2. 回) その他 (具体的に:)
	医師賠償責任保険の扱い	病院において加入 (1. する 0. しない) 個人加入 (1. 強制 0. 任意)
	外部の研修活動	学会、研究会等への参加: (1. 有 0. 無)
		学会、研究会等への参加費用支給の有無: (1. 有 0. 無)
	院内保育所(再掲)	院内保育所の有無 (1. 有 0. 無) 有を選択した場合、開所時間を記入してください (7:00 ~ 21:00)
		病児保育 (1. 有 0. 無) 夜間保育 (1. 有 0. 無)
		上記保育所は研修医の子どもにも使用可能か (1. 可 0. 不可)
	保育補助(再掲)	ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 (1. 有 0. 無)
		その他の補助 (具体的に)
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所(再掲)	休憩場所 (1. 有 0. 無) 授乳スペース (1. 有 0. 無)
その他育児関連施設・取組があれば記入(院外との連携した取組もあれば記入)(再掲)	()	
研修医のライフイベントの相談窓口(再掲)	1. 有 0. 無 窓口の名称がある場合記入 (教育研修部) 窓口の専任担当 1. 有 () 名 0. 無	
各種ハラスメントの相談窓口(再掲)	窓口の名称を記入 (管理課) 窓口の専任担当 1. 有 () 名 0. 無	
37. 研修医手帳(基幹型記入)	1. 有 0. 無	
38. 連携状況(基幹型記入)	* 様式A-6に記入	

※欄は、記入しないこと。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和6年度開催回数3回）

病院施設番号：

30474

臨床研修病院の名称：

独立行政法人国立病院機構 京都医療センター

氏 名	所 属	役 職	備 考
池田 雄史	京都市保健所	所長	研修実施責任者
徳永 修	南京都病院	院長	研修実施責任者
澤田 秀幸	宇多野病院	院長	研修実施責任者
吉岡 隆一	洛南病院	院長	研修実施責任者
松本 清子	松本医院	院長	研修実施責任者
小川 一也	小川クリニック	院長	研修実施責任者
坂東 一彦	坂東医院	院長	研修実施責任者
辻 寛子	伊藤人工透析クリニック	院長	研修実施責任者
奥田 晃司	おくだこどもクリニック	院長	研修実施責任者
山下 雅巳	生月病院	院長	研修実施責任者
常光 信正	青洲会病院	院長	研修実施責任者
関田 孝晴	富江病院	院長	研修実施責任者
柿添 三郎	柿添病院	副院長	研修実施責任者
堤 竜二	平戸市民病院	院長	研修実施責任者
徳家 敦夫	隠岐病院	院長	研修実施責任者

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。

「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。

欄が足りない場合には、セルの挿入により対応すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和6年度開催回数3回）

病院施設番号：

30474

臨床研修病院の名称：

独立行政法人国立病院機構 京都医療センター

氏 名	所 属	役 職	備 考
小山 弘	京都医療センター	副院長・教育研修部長	研修管理委員会委員長 プログラム責任者
小泉 三輝	京都医療センター	教育研修部副部長	指導医 プログラム副責任者
難波 多孝	京都医療センター	教育研修部	指導医
八十田 明宏	京都医療センター	臨床研究センター長	指導医
中原 孝洋	京都医療センター	医療情報部長	指導医
赤尾 昌治	京都医療センター	内科系診療部長・地域医療 部長	指導医
畑 啓昭	京都医療センター	外科系診療部長・広報戦略 部長	指導医
東別府 直紀	京都医療センター	手術室管理部長・麻酔科科 長	指導医
谷澤 公伸	京都医療センター	医事管理部長・呼吸器内科 科長	指導医
小倉 雅仁	京都医療センター	病棟管理部長・糖尿病内科 科長	指導医
趙 晃済	京都医療センター	救命救急部長・救命救急セ ンター長	指導医
瀬田 公一	京都医療センター	外来管理部長・腎臓内科科 長	指導医
井内 盛遠	京都医療センター	脳神経内科科長	指導医
藤田 晴之	京都医療センター	血液内科医長	指導医
濱西 潤三	京都医療センター	産科婦人科科長	指導医
松倉 崇	京都医療センター	小児科科長	指導医
吉田 貴子	京都医療センター	精神科科長	指導医
高田 幸千子	京都医療センター	看護部長	看護部門の責任者
松谷 智仁	京都医療センター	事務部長	事務部門の責任者
森 隆一	京都医療センター	管理課課長	事務部門の副責任者
西村 康孝	伏見医師会会長	伏見医師会	外部委員

12.診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令 和 6 年 度 分)

									臨床 研 修 病 院 の 名 称		独立行政法人国立病院機構 京都医療センター						
									病 院 施 設 番 号		030474						
区 分	内 科	救 急 部 門	外 科	麻 酔 科 （ 部 門 ）	小 児 科	産 婦 人 科	又は		精 神 科	病院で定めた 必修科目の診療科			その他の 研修を行う診療科			合 計	
							産 科	婦 人 科					当 所 （ C P C 担 当 ） そ の 他				
年間入院患者実数 （ ）内は救急件数又は分娩件数	5,565	1,154 (9,718)	1,750		348	1,209 (218)		(0)						4,540			14,566
年間新外来患者数	4,845	1,621	727		586	883			95					7,825			16,582
1 日平均外来患者数 （ ）内は年間外来診療日数	414.8 (243)	7.8 (365)	89.7 (243)	(0)	16.7 (243)	51.9 (243)	(0)	(0)	40.6 (243)	(0)	(0)	(0)	(243)	(0)	(0)		
平均在院日数	11.5	6.5	14.2		5.9	6.3								11.5			
常勤医師数 （うち臨床研修指導医（指導医）数）	63.0 (22)	12.0 (7)	17.0 (6)	14.0 (6)	7.0 (2)	8.0 (4)	(0)	(0)	2.0 (2)	(0)	(0)	(0)	(19)	(0)	(0)		161.0 (68)

※ 「年間入院患者実数」とは、提出年度の前々年度の繰越患者数に提出年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、提出年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1 日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数(小数第二位を四捨五入)とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙(様式自由)に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、10. の救急医療の実績の前年度の件数及び14. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令 和 6 年 度 分)		臨 床 研 修 病 院 病 院 の 名 称					独立行政法人国立病院機構 京都医療センター								
		病 院 施 設 番 号					30474								
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	13～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週	
京都医療センター	内 科	12	11	6	6	6	8	7	5	9	6	7	6	6	
	救 急 部 門	2	2	2	2	2	2	2	1		1	2	2	2	
	地 域 医 療		1	2	2	1	1	1	1	1					
	外 科	1		2	3	2	2	2	3	3	1		1	2	
	麻 酔 科	2	2	2	2	2	1	1	1	2	2	2	2	2	
	小 児 科		1	1	2	2	1	1	1	1	1		2	1	
	産 婦 人 科	2	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2		1	
	精 神 科		1	1	1	1		2	1	1	2				
京都大学医学部附属病院	内 科	2	2	2	2	1	1						1	2	
	救 急 部 門								1	2	1				
	外 科										1	2	1		
	麻 酔 科					1	1	2	1						
京都府立医科大学病院	救 急 部 門								1	1	1				
国立病院機構 高知病院	救 急 部 門									1					
国立病院機構 浜田医療センター	救 急 部 門			1	1		1	1							
研修医数（合計）	内 科	14	13	8	8	7	9	7	5	9	6	7	7	8	
	救 急 部 門	2	2	3	3	2	3	3	3	4	3	2	2	2	
	地 域 医 療	0	1	2	2	1	1	1	1	1	0	0	0	0	
	外 科	1	0	2	3	2	2	2	3	3	2	2	2	2	
	麻 酔 科	2	2	2	2	3	2	3	2	2	2	2	2	2	
	小 児 科	0	1	1	2	2	1	1	1	1	1	0	2	1	
	産 婦 人 科	2	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	0	1	
	精 神 科	0	1	1	1	1	0	2	1	1	2	0	0	0	
	一 般 外 来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

12.診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

[illegible]

研修医数（合計）	内 科	15	15	9	8	7	7	6	5	5	6	5	4	5
	救 急 部 門	2	2	3	2	2	2	4	4	3	3	2	2	2
	地 域 医 療	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0
	外 科	1	0	2	3	2	2	2	3	3	3	3	2	2
	麻 酔 科	2	2	2	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2
	小 児 科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0
	産 婦 人 科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0
	精 神 科	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0
	一 般 外 来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。

また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

[illegible]

[illegible]

29.研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号： 030474103

病院施設番号： 30474

臨床研修病院の名称：独立行政法人国立病院機構 京都医療センター

臨床研修病院群番号：

臨床研修病院群名：

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1.研修プログラムの名称	京都医療センター卒業研修プログラム				
2.研修プログラムの特色	1. 診療科が揃っており症例が豊富 2. 診療各科の垣根が低く気軽にコンサルテーションできる 3. 内科ローテーションでは総合内科のみならず、早期から内科系各科の専門医から指導が受けられる 4. 京都府下に4箇所ある救命センターのうちの1つを兼しER担当を通じ1～3次救急を幅広く経験できる 5. EBMを重視した診療が行われている 6. 院内各所よりインターネット-Wi-Fiが利用可能で、図書室にてMedicalonline、ProQuest、ClinicalKeyが利用可能である 7. MSWの常駐する地域医療連携室をもち、病診連携が密である 8. 大学病院との臨床および研究両面での連携が密である 9. 国立病院機構による豊富な研修の機会があります				
3.臨床研修の目標の概要	臨床医として最低限必要と考えられる医療行為が行えるために、診療科にとらわれない基本的な知識・技能・態度を身につける。				
4.研修期間	(2) 年 (原則として、「2年」と記入してください。)				
備考	研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。				
5.臨床研修を行う分野	研修分野ごとの病院又は施設(研修分野ごとの研修期間) * 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称(病院施設番号)を記入してください。 * 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。 各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。 * 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。				
	病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来	
(記入例) ××科	1234567	〇〇病院	〇週	〇週	
必修科目・分野	内科	030474	独立行政法人国立病院機構京都医療センター	24週	2週
	救急部門	030474	独立行政法人国立病院機構京都医療センター	12週	
	地域医療	032350	富江病院	4週	一般外来 2週
		034138	隔岐病院		
		034190	生月病院		
		060057	平戸市民病院		
		076071	伊藤人工透析クリニック		
		076072	小川クリニック		
		076075	坂東医院		
		076076	松本医院		
076470	柿添病院				
076669	青洲会病院				
116472	おくだこどもクリニック				
033305	伏見保健センター				
外科	030474	京都医療センター	8週	週	
小児科	030474	京都医療センター	6週	1週	
産婦人科	030474	京都医療センター	6週		
精神科	030474	京都医療センター	4週		
	020485	京都府立洛南病院			
一般外来 (単独実施のみ)			週		
病 必 修 院 で 定 め た 科 目	麻酔科	030474	京都医療センター	8週	週
				週	週
				週	週
				週	週
				週	週

選択科目	その他	030474	京都医療センター	32週	週
	その他	031734	宇多野病院		
	その他	031738	南京都病院		週

備考：基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低64週 ※原則として、52週以上行うことが望ましい。
臨床研修協力施設での研修期間・・・最大12週 ※原則として、12週以内であること。ただしへき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りでは無い。
研修プログラムに規定された4週以上のまとまった救急部門の研修を行った後に救急部門の研修としてみなす休日・夜間の当直回数・・・約94回
救命救急研修は12週の内8週を日勤ローテーション、のこり4週を2年間の当直内で行う
救急部門(必修)における麻酔科の研修期間・・・0週※但し、4週を上限とする
一般外来の研修を行う診療科・・・内科・小児科・地域医療(在宅診療は地域研修で行う)
選択科目のその他について、宇多野病院では神経難病医療、南京都病院では結核・呼吸器疾患研修、京都医療センターでは必修科目診療科を含め当院診療科(整形外科・形成外科・脳神経外科・血管外科・心臓外科・呼吸器外科・皮膚科・泌尿器科・眼科・耳鼻咽喉科・頭頸部外科・病理診断科・緩和ケア内科外科・検査科・放射線科(診断・治療)・リハビリテーション科から選ぶことができる

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、
既に取得されている場合に記入してください。

病 院 施 設 番 号 :	30474	臨 床 研 修 病 院 の 名 称 :	独立行政法人国立病院機構 京都医療センター
臨床研修病院群番号:		臨床研修病院群名:	

6.研修スケジュール(一年次)

プログラム番号: 030474103

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。*1

(No.1)

病院又は施設の名称 (病院施設番号)	研修分野 *2	1～4週				5～8週				9～12週				13～16週				17～20週				21～24週				25～28週				29～32週				33～36週				37～40週				41～44週				45～48週				49～52週																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
凡例 ○×病院 (○×○×○×)	内科			3	3	3	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					

*1:臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法(たすきがけ方式等)を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番の 패턴ごとに研修スケジュールを別紙に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。

*2:「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

*3:選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、
既に取得されている場合に記入してください。

病 院 施 設 番 号 :	30474	臨 床 研 修 病 院 の 名 称 :	独立行政法人国立病院機構 京都医療センター
臨床研修病院群番号:		臨床研修病院群名:	

6. 研修スケジュール(二年度)

プログラム番号: 030474103

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。*1

(No.1)

病院又は施設の名称 (病院施設番号)	研修分野 *2	1～4週				5～8週				9～12週				13～16週				17～20週				21～24週				25～28週				29～32週				33～36週				37～40週				41～44週				45～48週				49～52週																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
凡例 ○×病院 (○×○×○×)	内科			3	3	3	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												

33.臨床研修指導医（指導医）等氏名等名簿

様式A-10 別紙4

病院施設番号：

030474

臨床研修病院の名称：

独立行政法人国立病院機構 京都医療センター

担当分野①	担当分野② (兼任及び その他の 診療科)	専門分野	選択科目 の有無	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	勤務形態 (常勤or 非常勤)	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	受講した 指導医講習会等名	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
1 内科	内科	総合内科	○	小山 弘	京都医療センター	統括診療部長・教育研修部長	39	常勤	○	H18臨床研修協議会 707 5A責任者講習会受講 H21国立病院機構 指導医講習会受講	1・4
2 内科	内科	腎臓内科	○	小泉 三輝	京都医療センター	教育研修部副部長・腎臓 内科医師	19	常勤	○	令和3年度医師臨床研修推進財団責任者講習 会受講 H25国立病院機構 指導医講習会受講	2・4
3 内科	内科	内分泌代謝内科	○	難波 多幸	京都医療センター	教育研修部副部長・内分	19	常勤	○	R1国立病院機構 指導医講習会受講	4
4 内科	内科	脳神経内科	○	井内盛遠	京都医療センター	脳神経内科科長	25	常勤	○	H30京都入子医学部附 属病院指導医養成講習 会受講	4
5 内科	内科	内分泌代謝内科	○	立木 美香	京都医療センター	内分泌代謝内科医師	25	常勤	○	H17第4回東京女子医科 大学病院指導医講習会 受講	4
6 内科	内科	糖尿病内科	○	浅原 哲子	京都医療センター	内分泌代謝高血圧研究 部長	34	常勤	○	令和元年第30回京都入 学医学部附属病院指導 医講習会受講済	4
7 内科	内科	糖尿病内科	○	小倉 雅仁	京都医療センター	糖尿病内科科長	24	常勤	○	R5国立病院機構 指導医講習会受講	4
8 内科	内科	糖尿病内科	○	村田 敬	京都医療センター	糖尿病内科医師	32	常勤	○	H21国立病院機構 指導医講習会受講	4
9 内科	内科	糖尿病内科	○	野村 英生	京都医療センター	糖尿病内科医師	18	常勤	○	R4国立病院機構 指導医講習会受講済	4
10 内科	内科	総合内科	○	小田垣 孝雄	京都医療センター	総合内科・総合診療科医長	26	常勤	○	H19国立病院機構 指導医講習会受講	4
11 内科	内科	腎臓内科	○	瀬田 公一	京都医療センター	腎臓内科科長	32	常勤	○	H20国立病院機構 指導医講習会受講	4
12 内科	内科	腎臓内科	○	高折 光司	京都医療センター	腎臓内科医師	9	常勤	○	R5国立病院機構 指導医講習会受講	4
13 内科	内科	腎臓内科	○	西尾 治臣	京都医療センター	腎臓内科医師	14	常勤	○	R6国立病院機構 指導医講習会受講	4
14 内科	内科	循環器内科	○	和田 啓道	京都医療センター	先端医療技術開発研究 室長・循環器内科医師	31	常勤	○	H22第2回京都大学病院 指導医講習会受講	4
15 内科	内科	循環器内科	○	小川 尚	京都医療センター	循環器内科医師	26	常勤	○	H29国立病院機構指導 医講習会受講	4

病院施設番号： 030474 臨床研修病院の名称： 独立行政法人国立病院機構 京都医療センター

担当分野①	担当分野② (兼任及び その他の 診療科)	専門分野	選択科目 の有無	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	勤務形態 (常勤or 非常勤)	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	受講した 指導医講習会等名	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
16 内科	内科	循環器内科	○	益永 信豊	京都医療センター	循環器内科医師	25	常勤	○	H25国立病院機構 指導医講習会受講	4
17 内科	内科	循環器内科	○	井口 守丈	京都医療センター	循環器内科医師	24	常勤	○	H27国立病院機構 指導医講習会受講	4
18 内科	内科	循環器内科	○	石井 充	京都医療センター	循環器内科医師	20	常勤	○	H29第25回京都大学病 院指導医講習会受講	4
19 内科	内科	循環器内科	○	藤野 朋子	京都医療センター	循環器内科医師	18	常勤	○	H23京都大学病院 指導医講習会受講	4
20 内科	内科	循環器内科	○	井手 裕也	京都医療センター	循環器内科医師	17	常勤	○	R5国立病院機構指導医 講習会受講	4
21 内科	内科	呼吸器内科	○	藤田 浩平	京都医療センター	呼吸器内科医師	20	常勤	○	R3国立病院機構 指導医講習会受講	4
22 内科	内科	血液内科	○	川端 浩	京都医療センター	血液内科科長	36	常勤	○	H16金沢医科大学臨床研修 指導医講習会受講	4
23 救急部門	救急部門	救命救急	○	笹橋 望	京都医療センター	救命救急部部長	37	常勤	○	H20第1回京都大学病院 指導医講習会受講済	4
24 救急部門	救急部門	救命救急	○	趙 晃済	京都医療センター	救急科科長	24	常勤	○	R6国立病院機構 指導医講習会受講済	4
25 救急部門	救急部門	救命救急	○	田中 博之	京都医療センター	救急科医師	19	常勤	○	H24国立病院機構 指導医講習会受講済	4
26 救急部門	救急部門	救命救急	○	吉岡 崇	京都医療センター	救命救急科医師	19	常勤	○	R4国立病院機構 指導医講習会受講済	4
27 救急部門	救急部門	救命救急	○	吉田 浩輔	京都医療センター	救急科医師	16	常勤	○	R4国立病院機構 指導医講習会受講済	4
28 救急部門	救急部門	救命救急	○	村田 真紀	京都医療センター	救急科医師	15	常勤	○	H30第41回済生会臨床 研修指導医講習会受講	4
29 救急部門	救急部門	救命救急	○	橋本 賢吾	京都医療センター	救急科医師	14	常勤	○	R5国立病院機構 指導医講習会受講済	4
30 外科	外科	消化器外科	○	畑 啓昭	京都医療センター	外科医長	25	常勤	○	H17国立病院機構 指導医講習会受講	4

33.臨床研修指導医（指導医）等氏名等名簿

様式 A - 10 別紙 4

病院施設番号： 030474 臨床研修病院の名称： 独立行政法人国立病院機構 京都医療センター

	担当分野①	担当分野② (兼任及び その他の 診療科)	専門分野	選択科目 の有無	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	勤務形態 (常勤or 非常勤)	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	受講した 指導医講習会等名	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
31	外科	外科	消化器外科	○	中村 公治郎	京都医療センター	外科医師	23	常勤	○	R6国立病院機構 指導医講習会受講	4
32	外科	外科	消化器外科	○	中西 保貴	京都医療センター	外科医師	19	常勤	○	R1兵庫医科大学病院心 象研修指導医養成講習 会受講	4
33	外科	外科	消化器外科	○	堀 佑太郎	京都医療センター	外科医師	11	常勤	○	R6国立病院機構指導医 養成講習受講済み	4
34	外科	外科	消化器外科	○	末永 尚浩	京都医療センター	外科医師	9	常勤	○	R5国立病院機構指導医 養成講習受講済み	4
35	外科	外科	消化器外科	○	小嶋 大也	京都医療センター	外科医師	8	常勤	○	R6兵庫医科大学病院心 象研修指導医養成講習 会受講	4
36	麻酔科（部門）	麻酔科（部門）	麻酔科	○	東別府 直紀	京都医療センター	麻酔科科長	26	常勤	○	H22年全国自治体病院 協議会指導医講習会受 講	4
37	麻酔科（部門）	麻酔科（部門）	麻酔科	○	杉本 亮太	京都医療センター	麻酔科医長	30	常勤	○	H26国立病院機構 指導医講習会受講	4
38	麻酔科（部門）	麻酔科（部門）	麻酔科	○	松山 智紀	京都医療センター	麻酔科医師	19	常勤	○	H28国立病院機構 指導医講習会受講	4
39	麻酔科（部門）	麻酔科（部門）	麻酔科	○	吉岡 清行	京都医療センター	麻酔科医師	19	常勤	○	H29第130全国自治体病 院協議会指導医講習会 受講	4
40	麻酔科（部門）	麻酔科（部門）	麻酔科	○	森 悠	京都医療センター	麻酔科医師	16	常勤	○	H30京都入子医学部附 属病院指導医養成講習 会受講	4
41	麻酔科（部門）	麻酔科（部門）	麻酔科	○	水津 悠	京都医療センター	麻酔科医師	15	常勤	○	R6国立病院機構 指導医講習会受講	4
42	小児科	小児科	小児科	○	浅井 康一	京都医療センター	小児科科長	35	常勤	○	H18島根大学病院 指導医講習会受講	4
43	小児科	小児科	小児科	○	北 誠	京都医療センター	小児科医師	22	常勤	○	H24国立病院機構 指導医講習会受講	4
44	産婦人科	産婦人科	産婦人科	○	濱西 潤三	京都医療センター	産科婦人科科長	27	常勤	○	H27第22回京都大学病 院指導医講習会受講	4
45	産婦人科	産婦人科	産婦人科	○	天野 泰彰	京都医療センター	産婦人科医師	21	常勤	○	H27第22回京都大学病 院指導医講習会受講	4

33.臨床研修指導医（指導医）等氏名等名簿

様式A-10 別紙4

病院施設番号：

030474

臨床研修病院の名称：

独立行政法人国立病院機構 京都医療センター

	担当分野①	担当分野② (兼任及び その他の 診療科)	専門分野	選択科目 の有無	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	勤務形態 (常勤or 非常勤)	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	受講した 指導医講習会等名	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
46	産婦人科	産婦人科	産婦人科	○	江本 郁子	京都医療センター	産婦人科医師	19	常勤	○	H26第19回京都大学病院指導医講習会受講	4
47	産婦人科	産婦人科	産婦人科	○	岸本 尚也	京都医療セ	産婦人科医師	10	常勤	○	R6国立病院機構指導医講習会受講済	4
48	精神科	精神科	精神科	○	吉田 貴子	京都医療センター	精神科医長	39	常勤	○	H29国立病院機構指導医講習会受講	4
49	精神科	精神科	精神科	○	杉田 尚子	京都医療センター	精神科医長	23	常勤	○	H27年第21回京都大学医学部附属病院指導医養成講習受講	4
50	病理(CPC)	病理(CPC)	病理診断科	○	森吉 弘毅	京都医療センター	病理診断科医長	34	常勤	○	R5第34回京都大学病院指導医講習会受講	4
51	その他	皮膚科	皮膚科	○	十一 英子	京都医療センター	皮膚科科長	35	常勤	○	H20第1回京都大学病院指導医講習会受講	4
52	その他	泌尿器科	泌尿器科	○	寒野 徹	京都医療センター	泌尿器科科長	27	常勤	○	R5国立病院機構指導医養成講習受講み	4
53	その他	泌尿器科	泌尿器科	○	三品 睦輝	京都医療センター	泌尿器科医長	35	常勤	○	H17茨城県指導医養成講習会受講	4
54	その他	泌尿器科	泌尿器科	○	三浦 高慶	京都医療センター	泌尿器科医師	13	常勤	○	R1香川大学病院指導医養成講習受講	4
55	その他	泌尿器科	泌尿器科	○	早田 直生	京都医療センター	泌尿器科医師	9	常勤	○	R5国立病院機構指導医養成講習受講み	4
56	その他	放射線科	放射線治療科	○	荒木 則雄	京都医療センター	放射線治療科医長	31	常勤	○	H17京都大学医学部附属病院指導医養成講習受講	4
57	その他	放射線科	放射線治療科	○	植木 一仁	京都医療センター	放射線治療科医師	13	常勤	○	R5国立病院機構指導医養成講習受講み	4
58	その他	脳神経外科	脳神経外科	○	福田 俊一	京都医療センター	脳神経外科科長	36	常勤	○	H22国立病院機構指導医養成講習受講み	4
59	その他	耳鼻咽喉科	頭頸部外科	○	安里 亮	京都医療センター	頭頸部外科医長	36	常勤	○	H22国立病院機構指導医講習会受講	4
60	その他	整形外科	整形外科	○	向井 章悟	京都医療センター	整形外科医長	32	常勤	○	R1国立病院機構指導医養成講習受講み	4
61	その他	外科	心臓血管外科	○	白神 幸太郎	京都医療センター	副院長・医療安全部長 心臓血管外科科長	37	常勤	○	H29国立病院機構指導医講習会受講	4

病院施設番号：

030474

臨床研修病院の名称：

独立行政法人国立病院機構 京都医療センター

	担当分野①	担当分野② (兼任及び その他の 診療科)	専門分野	選択科目 の有無	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	勤務形態 (常勤or 非常勤)	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	受講した 指導医講習会等名	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
62	その他	外科	心臓血管外科	○	片岡 剛	京都医療センター	心臓外科医長	28	常勤	○	H29国立病院機構指導 医講習会受講	4
63	その他	外科	心臓血管外科	○	幾野 毅	京都医療センター	心臓外科医長	24	常勤	○	R5国立病院機構指導医 講習会受講	4
64	その他	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科	○	牛呂 幸司	京都医療センター	耳鼻咽喉科医師	22	常勤	○	R3京都大学医学部附属 病院指導医養成講習受 講	4
65	その他	外科	心臓血管外科	○	浅田 秀典	京都医療センター	心臓血管外科医長	38	常勤	○	H21国立病院機構 指導医講習会受講	4
66	その他	形成外科	形成外科	○	海透 修子	京都医療センター	形成外科医師	14	常勤	○	R4国立病院機構 指導医講習会受講済	4
67	その他	内科	緩和ケア科	○	江坂 直樹	京都医療センター	緩和ケア科医師	19	常勤	○	H29第25回京都大学病 院指導医講習会受講	4
68	その他	外科	呼吸器外科	○	澤井 聡	京都医療センター	呼吸器外科科放	34	常勤	○	H17滋賀医科大学医師臨床 研修指導医講習会受講済 み	4
69	その他	内科	脳神経内科	○	澤田 秀幸	宇多野病院	院長	38	常勤	○	H22国立病院機構 指導医講習会受講	3・4
70	その他	内科	循環器内科	○	内炭 弘嗣	宇多野病院	救急部長	38	常勤	○	H16指導医講習会受講済	4
71	その他	小児科	小児科	○	徳永 修	南京都病院	院長	35	常勤	○	平成26年度近畿グルー プ臨床研修指導医養成講 習会	4
72	その他	内科	内科	○	角 謙介	南京都病院	診療部長	26	常勤	○	平成27年度近畿グルー プ臨床研修指導医養成講習 会	4
73	その他	小児科	小児科	○	木村 祐次郎	南京都病院	小児科医長	32	常勤	○	臨床研修指導医養成研修 会(H21)	4
74	その他	内科	内科	○	竹内 啓喜	南京都病院	脳神経内科医長	25	常勤	○	平成27年度近畿グルー プ臨床研修指導医養成講習 会	4
75	その他	外科	外科	○	大塩 麻友美	南京都病院	呼吸器外科医長	20	常勤	○	平成22年度第2回京都大学 医学部附属病院医師臨床 研修指導医講習会	4
76	その他	内科	内科	○	坪井 知正	南京都病院	呼吸器内科医師	36	常勤	○	臨床研修指導医養成研修 会(H17)	4

33.臨床研修指導医（指導医）等氏名等名簿

様式A-10 別紙4

病院施設番号： 030474 臨床研修病院の名称： 独立行政法人国立病院機構 京都医療センター

担当分野①	担当分野② (兼任及び その他の 診療科)	専門分野	選択科目 の有無	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	勤務形態 (常勤or 非常勤)	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	受講した 指導医講習会等名	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
77	地域医療	地域医療	○	松本 清子	松本医院	院長	37	常勤	○	平成21年日本医師会第5回 指導医のための教育ワー クショップ1 修了	3・4
78	地域医療	地域医療	○	西尾 雅年	松本医院	医師	27	常勤	×		
79	地域医療	地域医療	○	小川 一也	小川クリニック	院長	46	常勤	×		3
80	地域医療	地域医療	○	坂東 一彦	坂東医院	理事長	47	常勤	×		3
81	地域医療	地域医療	○	辻 博子	伊藤人工透析クリニッ ク	院長	37	常勤	×		3
82	地域医療	地域医療	○	奥田 晃司	おくだこどもクリニッ ク	院長	28	常勤	×		3
83	地域医療	地域医療	○	常光 信正	青洲会病院	院長	33年	常勤	○	平成27年度第10回臨床研修指導 医講習会J(H30.2.10) 修了 TKP「デン」博多新幹線口総合診 療センター指導医講習会	3
84	地域医療	地域医療	○	山口 健一	青洲会病院	副院長	25年	常勤	○	外科専門医 平成18年度長崎大学病院群臨床 研修指導医講習会修了	4
85	地域医療	地域医療	○	山下 雅巳	平戸市立生月病院	院長	38	常勤	○	平成16年度指導医医療講習 会受講済	3・4
86	地域医療	地域医療	○	小村 哲永	平戸市立生月病院	副院長	31	常勤	○	平成16年度指導医医療講習 会受講済	4
87	地域医療	地域医療	○	関田 孝晴	長崎県富江病院	院長	23	常勤	○	臨床研修指導医養成講習 会 (H20.9.14)	3・4
88	地域医療	地域医療	○	小原 則博	長崎県富江病院	医師	47	常勤	×		
89	地域医療	地域医療	○	徳家 敦夫	隠岐病院	院長	39	常勤	○	総合診療専門研修特任指 導医 消化器外科指導医	3
90	地域医療	地域医療	○	加藤 一郎	隠岐病院	副院長 地域連携部長 総合診療科統括部長	27	常勤	○	H22.12.全国自治体病院協 議会指導医講習会受講	4
91	地域医療	地域医療	○	柿添 三郎	柿添病院	副院長	41	常勤	○	H24日本医師会1指導医 のための教育ワー クショップ1 修了	3・4

病院施設番号： 030474 臨床研修病院の名称： 独立行政法人国立病院機構 京都医療センター

担当分野①	担当分野② (兼任及び その他の 診療科)	専門分野	選択科目 の有無	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	勤務形態 (常勤or 非常勤)	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	受講した 指導医講習会等名	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
92	地域医療	地域医療	○	柿添 由美子	柿添病院	小児科医長	37	常勤	×	H15年8月30日 プライマリ・ケアの指導 方法等に関する講習会	
93	地域医療	地域医療	○	木寺 一希	柿添病院 附属中野診療所	所長	27	常勤	○	H29年1月21日 平成28年度第2回長崎大学 病院群臨床研修指導医養 成講習会	4
94	精神科	精神科	○	吉岡 隆一	京都府立洛南病院	院長	37	常勤	○	平成27年度第2回「臨床 研修指導医講習会」(第 1回)修了(精神科七者懇 話会)	3・4
95	精神科	精神科	○	飯野 龍	京都府立洛南病院	副院長	33	常勤	○	第14回新臨床研修指導 医養成講習会修了(全国自 治体病院協議会)	4
96	精神科	精神科	○	山崎 信幸	京都府立洛南病院	副院長	26	常勤	○	平成28年度精神科七者懇 話会「臨床研修指導医講 習会」修了(精神科七者 懇話会)	4
97	精神科	精神科	○	幸田 有史	京都府立洛南病院	診療部長	32	常勤	○	第166回臨床研修指導 医講習会修了(全国自治 体病院協議会)	4
98	精神科	精神科	○	三野 浩也	京都府立洛南病院	診療部長	35	常勤	○	第168回臨床研修指導 医講習会修了(全国自治 体病院協議会)	4
99	精神科	精神科	○	坂田 大介	京都府立洛南病院	精神科医長	23	常勤	○	平成29年度精神科七者 懇話会「臨床研修指導 医講習会」修了(精神科 七者懇話会)	4
100	精神科	精神科	○	三宅 康裕	京都府立洛南病院	精神科医長	13	常勤	○	第175回臨床研修指導 医講習会修了(全国自治 体病院協議会)	4
101	精神科	精神科	○	米澤 恵子	京都府立洛南病院	精神科医長	11	常勤	○	第163回臨床研修指導 医講習会修了(全国自治 体病院協議会)	4

- ※ 「担当分野①」欄には、内科、救急部門、外科、麻酔科、小児科、産婦人科（産科・婦人科選択可）、精神科、地域医療、病理（C P C）及びその他を記入すること。
- ※ 「担当分野②」には兼任している診療科、病院で定めた必修科目の診療科及びその他研修を行う診療科を記入すること。
- ※ 「専門分野」には呼吸器内科、消化器内科、呼吸器外科、消化器外科等を記入すること。記入した「専門分野」が選択科目の場合「選択科目の有無」に○を記入すること。
- ※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。
- ※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入すること。
- * 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者
- * 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者
- なお、基礎研究医プログラムの指導医には、「基礎研究歴7年以上」もしくは「7年未満」いずれかを「臨床経験年数」欄に明記すること。**
- ※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること。
- ※ 欄が足りない場合には、セルの挿入により対応すること。

25.臨床研修病院群の時間外・休日労働最大想定時間数の記載（基幹型記入）

様式 A - 1 0 別紙5

基幹型臨床研修病院の名称（所在都道府県）： 独立行政法人国立病院機構 京都医療センター (京都府)

研修プログラムの名称： 京都医療センター卒後研修プログラム

病院名	病院施設 番号	種別	所在 都道府県	時間外・休日労働 (年単位換算) 最大想定時間数	おおよその当直・日直回数 ※宿日直許可が取れている場合はその旨を記載	参考 時間外・休日労働 (年単位換算) 前年度実績	C-1水準 適用
独立行政法人国立病院機構 京都医療センター	030474	基幹型	京都府	960時間	月4～5回、ER日直当直/許可あり	720時間（2024年度実績）	

- ※ 年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の想定を記入すること。
- ※ 研修プログラム変更・新設の届出の場合は、届出年度の前年度の実績及び次年度（プログラム開始年度）の想定を記入すること。
- ※ 該当する項目について、基幹型臨床研修病院を筆頭に、研修医と雇用契約を締結する協力型臨床研修病院について、施設番号順に結めて記入すること。
- ※ 病院群を構成する基幹型臨床研修病院及び研修医と雇用契約を締結する協力型臨床研修病院の病院施設番号、病院種別（基幹型・協力型）、所在都道府県、時間外・休日労働（年単位換算）の最大想定時間数、おおよその当直・日直回数（宿日直許可が取れている場合はその旨）、前年度の時間外休日労働の年単位換算実績及び、C-1水準適用の状況を記入すること。
- ※ 最大想定時間数は、プログラムに従事する臨床研修医が、該当する研修病院において実際に従事することが見込まれる時間数について、前年度実績も踏まえ、実態と乖離することのないよう、適切に記入すること。
- ※ 臨床研修医においては、従事する全ての業務が研修プログラムに基づくものとなるため、A水準又はC-1水準しか適用されないことに留意すること。
- ※ 欄が足りない場合には、セルの挿入により対応すること。